

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 29 年 9 月 11 日（月）受付分より

《検査要項①》

検査項目名称	ルフィナミド【薬物分析検査】
検査コード	6327
JLAC10	3L240-0000-022-210-01
診療行為コード	113000410
検体量	血漿 0.3mL
保存・容器	必凍・E1→A2
実施料（判断料）	特定薬剤治療管理料
所要日数	5～8日
検査方法	LC-MS/MS法
基準値	設定なし・ $\mu\text{g}/\text{mL}$
備考	採血後、速やかに血漿分離し凍結にてご提出ください。

《解説》

ルフィナミドは抗てんかん薬で、主な商品名に「イノベロン®錠」があります。本薬剤は、「他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないLennox-Gastaut症候群（レノックス・ガストー症候群：LGS）における強直発作及び脱力発作に対する抗てんかん薬との併用療法」に対する効能が認められ、使用が可能となりました。

《検査要項②》

検査項目名称	便中カルプロテクチン
検査コード	6347
JLAC10	5C235-0000-015-023-01
診療行為コード	160210050
検体量	糞便 1g (拇指頭大)
保存・容器	必凍・K
実施料 (判断料)	276 点 (免疫)
所要日数	7 ~ 12 日
検査方法	ELISA 法
基準値	240 $\mu\text{g/g}$ (潰瘍性大腸炎の病態把握のカットオフ値)
備考	重複依頼不可

保険収載名称：カルプロテクチン（糞便）

保 険 注 釈：ア カルプロテクチン（糞便）は、抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体（MPO-ANCA）の所定点数に準じて算定する。

イ 本検査は、潰瘍性大腸炎の患者に対して、病態把握を目的として、ELISA 法により測定した場合に、3 月に 1 回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を 3 月に 2 回以上行う場合（1 月に 1 回に限る。）には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

ウ 本検査及び大腸内視鏡検査を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

《解 説》

消化器症状を呈する場合、炎症性腸疾患と機能性腸疾患が主な鑑別疾患となりますが、両疾患の鑑別には大腸内視鏡検査を行う必要があります。しかし、侵襲的な検査であり頻回の実施が難しいことから、より簡便な検査が求められていました。

カルプロテクチンは、好中球の顆粒中に豊富に含まれており、腸管局所で炎症が起こると白血球が腸管壁を通じて管腔内に移行します。そのため、糞便中のカルプロテクチン量を測定することで、腸管炎症の有無を把握することが可能になります。